

近畿TEC-FORCE 活動通信

平成30年7月豪雨への対応 NO.10
[H30.8.1発行]

「平成30年7月豪雨」により、海域には船舶航行の支障となる浮遊ゴミが大量に発生しました。これら浮遊ゴミを海洋環境整備船「クリーンはりま」、「Dr.海洋」及び「海和歌丸」が、7月14日から29日まで12日間にわたり広島湾から瀬戸大橋周辺の瀬戸内海で回収しました。回収量は例年大阪湾で回収する1ヵ月分を超える量となる約469.5m³(速報値)でした。

■海洋環境整備船「クリーンはりま」

神戸港湾事務所所属
全長 32.2m
全幅 11.4m
総トン数 197トン

■漂流物回収状況



かき笈回収状況

ゴミ陸揚げ状況

■活動範囲



■ごみ回収量(速報値) (m³)

